



9月イベント紹介

村田だより 9月号

～新入社員 自己紹介～

9月の日に入社しました。事務とごちよこと工場の仕事を担当する伊藤政貴(いづまた たかし)と申します。

8月末に30年間勤務していた会社を退職し、第二の人生のスタートを致しました。



今までと全然違う種類の業界なので慌てたところ、戸惑いながらも多々あると思いますが、慌てず・焦らず・あきらめずの気持ちでがんばって仕事に励んで行きたいと思っています。早く業務に慣れるための日々努力を、皆様のおかげで上手に進めさせていただきます。

村田株式会社

TEL 0835-22-3205

～素敵なモノ 紹介シリーズ～

会社にある「素敵なモノ」をこれからシリーズとして紹介していきます。

第一回は、萩焼の「猫仏」です。

この作品は、風来房〜止原理美さんによる動物をモチーフにしたものです。厨子に鎮座して座禅を組んだ僧侶が瞑想しているようなポーズを猫に取らせているのが特徴で、顔に白髷があり仏様をイメージしているように思えます。

日本では古来よりネズミなどから農作物を守ってくれるという理由もあって、福を招く動物として重宝されてきました。



とくに黒猫は、暗闇の中でも目が見えて俊敏に動き回れる事から厄除けや魔除け、家内安全の象徴として大切にされてきました。現代でも受け継がれていて、愛知県宇和島市の三島神社で黒猫をモチーフにした魔除けがつけられていて猫好きな人に人気になっています。

猫でありながら人間のような所作をしている所、仏様のようなきついているように見えるのが、面白いです。(1)

～小山おすすめ メディア～ ドクトルジバコ

昔、名作という映画を片端から見ていた時に出会った映画が『ドクトルジバコ』です。巨匠デビットリーン監督の壮大な長編歴史大作で、医師であり詩人のユーリ(ジバコ)を主人公に、二人の女性との恋愛をロシア革命によって翻弄される人々の姿とともに描かれた作品です。過酷なロシアの情勢を知ることができて、テーマ曲も心に残りシベリアの大雪原の映像も印象として残っております。今の時代の心の拠り所をどこに見出すのか考えさせる映画でもあります。秋の夜長にタイムスリップしてみたいかが。。

日本劇場公開日：1966年6月11日



中秋の名月！ススキやお団子をイメージしよう！

編集後記 ～橋本～
甥っ子(5歳)と姪っ子(3歳)がいます。市外在住、コロナもあり、最近では更に会う回数か減り寂しい気持ちと…会う度に成長している姿に嬉しくも思います。時間の大切さを改めて感じています。。。甥っ子とは度々喧嘩をしますが(すぐ仲直りします)次回会う時は、皆で仲良く楽しく、「さっちゃん嫌い！」と言われないよう、時間を大切に過ごしたいです。編集委員 藤村・桑原・橋本・西山

VIDeN公式LINEアカウント

お得な情報を受け取るには

QRコードをスキャンして

「友だち追加」

よろしくお願いします！



ベストドレッサーは 権代♪



9月スタイリッシュDAY